



総合防災訓練で一斉放水を行う消防団

自分の住むまちを守りたい

消防団の活動

火災が起きたとき、消防車で駆けつけて消火活動をするのは、消防署と消防団です。消防員は東京消防庁の消防専門職ですが、消

防団員は自分の仕事を持ちながら活動するボランティア的存在です。日ごろ訓練を重ね、「わがまちを災害から守る」という精神で、災害時に消防署と連携して活動を行います。火災消火

消防団員は、自営業や会社勤務など自分の仕事を持ちながら地域防災の要として幅広い活動を行っています。火災や台風などの災害発生時に活動する消防団員は欠かせない存在ですが、団員数が年々減ってきています。市では、団員不足対策として、「機能別消防団員」制度を導入して参加する「機能別消防団員」制度を導入する条例改正案を12月市議会定例会に提出し、議会で審議を行っています。

消防団の編成

市消防団は、7個分団25部で編成されています。分団の地域は次のとおりです。

- 第1分団：東秋留地域
- 第2分団：多西地域
- 第3分団：西秋留地域
- 第4分団：増戸地域
- 第5分団：五日市地域

活動だけでなく、台風などの水害を防ぐための土のう積みなどや、火災予防のための啓発活動、地域行事への参加などを行っています。また、毎月機材点検や会議などを行い、いざというときに備えています。

地域になくてもならない存在 消防団

必要となった機能別消防団員
あきる野市消防団員の条例定数は506人ですが、現在の団員数は447人で、59人の不足となっています。来年3月の退団予定者は63人いるため、新入団員の確保が厳しい実情がある中、さらに欠員が増えることが予想されます。この問題の解決策を検討した結果、定数を変更せずに別の方法として、特定の活動のみに参加する「機能別消防団員」(退団者が対象)の導入を議会に提案することとなりました。

消防団員の身分など
消防団員は、非常勤の公務員です。一定の報酬と、災害や訓練に出場した場合に手当が支給され、5年以上勤務し退団した場合に退職金が支給されます。また、活動中に負傷した場合の補償、活動に必要な被服の貸与、功績に対する表彰制度もあります。

自分の住むまちを地域の力で守ろう!



消防団員募集

平成23年度新規入団者を募集します(欠員のある部については、随時入団可能です)。熱意のある健康な方なら誰でも入団できます。あなたの力をお貸しください。
募集対象 あきる野市に居住しているか、勤務している満18歳以上35歳まで、心身ともに健康な男性の方

歳末特別警戒

年末を迎え、何かと忙しくなるこの時期は火災が増加します。消防団では防火対策の一環として、12月27日(月)から30日(木)までの間、歳末特別警戒を実施します。火災は財産を奪うだけでなく、大切な思い出の数々をも奪います。一人ひとりが火の元の点検などに心がけ、火災を出さないようにしましょう。

消防団正副団長、各分団長を紹介します

地域のいろいろな職業の人と仲間になれるし、地域の人に感謝されるとやりがいを感じる。それが消防団の魅力です。

団長 上野章さん



副団長 窪島秀夫さん



副団長 鈴木盛哉さん



副団長 佐藤澄雄さん



副団長 中村茂樹さん



第4分団長 田邊和弘さん



第3分団長 内倉仁さん



第2分団長 田中登さん



第1分団長 森田康大さん



第7分団長 浦野貴司さん



第6分団長 内倉浩支さん



第5分団長 小机伸明さん

問合せ
地域防災課
防災安全係

映画 五日市物語が撮影終了



主演の遠藤久美子さん(右)、山崎佳之さん(左)と、小林仁監督

11月27日、市制15周年記念映画「五日市物語」の撮影が終了しました。平成23年夏のあきる野映画祭で上映予定ですので、お楽しみに。

問合せ 地域産業推進室

12月15日号の主な記事

- 年末・年始の市の業務... 2面
- 民生委員・児童委員紹介... 3面
- 市職員給与などの状況... 4・5面
- 図書館からのお知らせ... 6面
- 年末年始の休日医科・歯科診療... 8面
- 1月の市民相談... 8面

世帯と人口

平成22年12月1日現在

世帯 33,169世帯
 人口 81,886人(前月比 10人増)
 男 40,974人
 女 40,912人